

官民が連携した 真のエリア再生 とは

内川の未来の姿やワクワクする仕掛けを
みんなで考える連続イベント。

第4回のテーマは「官民連携」です。

これからの人口減少時代、地域課題を解決していくためには
自治体と地域が今まで以上に連携を図ることが求められています。

互いに協力するからこそ、このエリアでできることをみなさんと考えましょう。



第4回かわべの会議

11.17 2022
THU.
13:30-15:30

会場

クロスベイ新湊iCNホール
射水市本町二丁目10-30

対象

官民連携のまちづくりに興味がある方
内川周辺で事業をされている方
/ 将来開業を考えている方
内川周辺にお住まいの方

参加費

無料 定員50名程度

第1部

ゲストトーク

13:30-14:30

渡邊 浩司 氏 一般財団法人
民間都市開発推進機構
「官民が連携した真のエリア再生とは」



第2部

全体ディスカッション

14:30-15:30

渡邊先生への質問やディスカッションを行います。
コーディネート：松本 大地氏 商い創造研究所

当日は「かわべの開放WEEK」も開催中です▶



主催 内川周辺エリアプラットフォーム（仮）
問合せ 射水市役所 河川・港湾課（大島分庁舎2階）
0766-51-6684 kasen-kouwan@city.imizu.lg.jp

内川周辺プラットフォーム（仮）は、射水市、射水
商工会議所、民間事業者から構成される、内川周
辺でのまちづくりに取り組む活動組織です。

詳細は裏面を
ご覧下さい

官民が連携した 第4回かわべの会議

11.17²⁰²² THU.

13:30-15:30

真のエリア再生 とは

かわべの会議 とは…

漁船の停泊するまちなみや水との親近感、港町ならではの時間感覚。
内川らしいこの環境を好きになり、新しく開業するお店が増えてきています。
ひとつひとつに個性があり、内川を再び訪れたいくなるようなお店たちばかり。
そんな魅力ある動きを応援したく、内川の未来の姿や
ワクワクする仕掛けを考える会議を開催することにしました。
もっと内川を訪れたいくなり、内川で商いをしたいくなり、
そして、内川に暮らしたくなる そんなまちを目指して、
一緒に対話し、行動を起こしませんか？

ゲストの紹介



わたなべ ひろし
渡邊 浩司氏

一般財団法人 民間都市開発推進機構 常務理事
前・国土交通省大臣官房技術審議官（都市局担当）

1962年生まれ。東京大学工学部卒業。1985年、旧建設省に入省。国や地方公共団体で主に都市計画・都市整備分野の業務に従事。2014年から豊島区副区長としてリノベーションまちづくり、南池袋公園整備やグリーン大通り利活用等に携わる。2016年、国土交通省に戻り、都市局街路交通施設課長、同市街地整備課長、大臣官房技術審議官（都市局担当）を務めて2022年6月に国土交通省を退職し、10月から現職。豊島区や国土交通省での経験を踏まえ、ウォークアブルなまちづくりの推進に取り組んでいる。日本大学客員教授、博士(工学)。(公社)日本都市計画学会副会長。

会場・駐車場のご案内



クロスベイ新湊駐車場は4時間まで無料です

今後のスケジュール

かわべとみちを使った社会実験
『かわべの開放 WEEK』11月14日(月)~20日(日)
第5回 かわべの会議 1月26日(木)